

## 令和5年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 日時： 令和5年10月24日（火）15時～16時30分

2 会場： 大阪府立三国丘高等学校 校長室

3 出席者：

【委員】 田中満公子会長、仲林信至副会長、井上博史委員、  
河野泰之委員、平松勝己委員、（吉岡哲郎委員：ご欠席）

【学校側】 藤井光正校長、福本美紀教頭、中島泰志事務部長、田中和代首席、吉田憲司首席、  
大塚雅之教諭、宮根隆教諭、北川晃土教諭  
田中洋平教諭、（尾崎勇魚教諭：欠席）  
コンシビド教諭、杉山実習教員

4 次第

① 校長挨拶

② 議事

### ◇ 令和5年度学校経営計画の進捗状況について

【委員】 授業アンケート結果が向上したとの報告があったが、その要因として何が考えられるか？

【学校】 授業観察をしていると、ICTを活用したグループワークやペアワークが増えており、そういった授業について生徒の評価が高くなっている。プロジェクターで文字や画像・映像を映しながら授業をするという手法は当たり前になっており、他にも様々なソフトを利用した授業が行われている。例えば、数値を入力するとグラフが描かれ、これを増減させるとグラフが自動的に動くソフトを使った数学の授業もあった。とてもわかりやすい授業だと感じた。

【委員】 授業が進化している理由として考えられることは何か？

【学校】 それぞれの教員が授業力向上の努力をしたというのが最も大きな理由だと思う。教科内で情報共有を進めたり、相互に授業見学をするようなことも行われている。

【委員】 授業の進め方などについて、先生方の勉強会なども開催しているのか？

【学校】 国語科の元指導教諭の先生の授業を動画で配信し、全員がその動画を観るという取組みをした。

【委員】 授業アンケートの結果は教員にフィードバックしているのか。

【学校】 している。教員個々へのフィードバックに加えて、教科毎のデータも返している。  
データをもとに教科としても授業力向上について検討する仕組みになっている。

【委員】 グループワークをしているという話だったが、大学受験に向けての学力向上と両立しているのか？

【学校】 グループワークやペアワークが受験のための学力向上の妨げになっているということはない。例え

## 令和5年度 第2回学校運営協議会 議事録

ば、英語では生徒間の対話を重視しているが、その中で誤答や失敗を重ねることによって学ぶ。生徒に考えさせ、発言させる指導法がテストの点数の向上にも繋がっている。また、多くの教科でグループ内で互いに自分の考えを説明させる機会が増えている。自分の答に自信がある生徒であっても自分の考えを整理して話さないと伝わらない。グループワークやペアワークにおいては、個人の理解がゴールではない。言語化は、どの生徒にとっても学力向上に良い効果を及ぼす。

【委員】 大学生は単位の実質化といって90分の授業に対して、90分の予習復習をしなければならないということになっているが、三国丘の生徒の学校外における学習時間はどうなっているのか？

【学校】 学習時間に関する項目を含むアンケートを実施している。GLHSの評価指標としても使わせていただいているが、今年度統計の結果はまだ出ていない。

【委員】 以前に、学校外の学習場所は自宅ではなく別の場所が多いと聞き、驚いたことがある。どこで勉強しているのだろうか？

【学校】 130周年記念事業の一環として食堂に空調を入れてもらったので、自習室として利用できるようになった。勉強をする場所としてもグループ等で作業をする場所としても季節を問わずに使える。

【委員】 5大学（東京大・京都大・大阪大・神戸大・大阪公立大）を志望する生徒が増えているということだが、具体的に説明してほしい。

【学校】 3年生は250人以上が5大学を志望している。8割を超えている。

【委員】 いじめ対策についての言及があったが、具体的にはどういうことか？

【学校】 いじめの定義はいじめ防止対策推進法で定められているが、本校ではこれに基づいて認知を進めているということ。3か月間の見守りを経て解消していく事案もある。

【委員】 いじめは出来るだけ早く認知して対応するのが良いと思う。そういう意味で、三国丘では上手く対処できているように感じる。

【委員】 大学ではパワハラ、アカハラ、セクハラ等いろんなハラスメントの防止について取り組んでいる。誰かが不快感をもつというのがハラスメントの一番の根本。これからも、被害者がどう感じるかを大事にして対応すれば良いと思う。

【委員】 1年生の部活動加入率102%は凄いと思う。兼部が増えているという説明だったが、逆に部活に入っていない生徒は何人くらいか。

【学校】 クラスで1人ぐらいという印象である。

【学校】 入部率は過去最多。100%を超えたのは今年度が初めて。

### ◇ スーパーサイエンスハイスクールとしての今年度の取組みについて

【委員】 海外研修の参加者はどのようにして選ぶのか。希望者多数の場合は抽選なのか。

## 令和5年度 第2回学校運営協議会 議事録

【学校】 コロナ禍前は面接などで選考していたが、その後旅費が高騰し今年などは参加費用が約 55 万と高額になってしまった。そのためか、希望者が殺到することはない。

【委員】 海外研修に行った生徒をみていて、変わったと感じるところはあるか？

【学校】 多くの生徒は発言が多くなる。海外に行くと自分から伝えることが大事なので、そういった経験から得た教訓が行動として表れることが多い。

【委員】 NASA 海外研修でフロリダの高校を訪問したと聞いたが、三国丘との違いはどんなところか？

【学校】 探究のようなプロジェクトベース型の授業が全カリキュラムの半分を占めていた。生徒は、自分の PC を持ち、それぞれの課題を自由に進めていく。あらゆる箇所にある窓ガラスや机は、文字や数字を書いたり消したりできる素材でできていた。世界にはこんな環境で学んでいる人たちがいて、三国丘を卒業生したらそんな人たちと競い合うことになるのかと思えば、教員として大きな刺激になった。生徒も同じようなことを感じていると思う。

【委員】 先生方からの指導だけではなく、友だちと刺激し合いながら力をつけていくというのが印象的だったということだと思うが、それを受けて、三国丘高校として工夫していることはあるか？

【学校】 グループワークの機会は極力増やしているが、自分たちで議論する空気感はまだまだ少ないのではと思い、そういった議論をする場として各階廊下にホワイトボードを設置し、自由に書けるようにしている。

【委員】 SSH が無くなれば NASA 海外研修の実施は厳しいのか？

【学校】 大変厳しくなる。SSH の継続は三国丘高校にとって非常に重要なこと。

### ◇ スーパーグローバルハイスクールの今年度の取組みについて

【委員】 フィリピン海外研修で学んだことは何か。

【学校】 フィリピンの大学生の気遣いを感じる場面がたくさんあった。その根底にはホスピタリティの精神だけではなく、周囲の人たちへの感謝があると感じた。これは、日本で体験できない経験。研修期間中のある日、生徒たちにこのことを話し自分たちはどうするのかと尋ねたところ、次の日から人が変わったように積極的になり、主体的に行動するようになった。これは大きな学びだったと思う。

### ◇ 進路指導関係の状況について

【委員】 文系理系の割合はどうなっているのか。

【学校】 文系が 1 組 2 組、3 組が文理混合、4 組から 8 組は全て理系である。理系が多い傾向がある。

【委員】 大学として将来的には特別選抜の定員枠を増やすという話も聞かすが、三国丘高校では特別選抜についてどう考えているのか。

【学校】 特別選抜の枠が増えているのは事実だが、受かりやすい訳でもない。学校としては、変わらず一般

## 令和5年度 第2回学校運営協議会 議事録

選抜を軸に考えている。その方が生徒も集中して計画的に準備をすることができる。

【委員】 私立大学の指定校推薦は全体で1名と少ないが、その理由は？

【学校】 数は例年並みである。特に少ない訳ではない。0名の年度もある。私立大学を第1志望にする生徒が少ないので、自ずと指定校推薦も少なくなる。